



◀この一般質問の映像はこちらから

■ 台風19号被害対応について



池澤 昇秋

質問

台風19号被害対応は

町 国庫補助と町単独工事で行う

問 今後の河川復旧策は。

答 大規模災害は国庫補助で、小規模なものは町単独の工事で行う。

問

避難所の寝床など、生活環境のために段ボールベッドの配備は。

答

現在備蓄していない。要配慮者用の段ボールベッド等は早急に配備したい。

問

消防団活動拠点の寄居地区詰め所が浸水し、消防活動に支障をきたした。今後の対策は。

答

建設時に地域から排水施設の要望がなく、建設整備を行った。国道を管理する県や関係機関と協議していく。

問

避難場所として東陽小学校が開設された。もう少し早い段階で開設できなかったか。

答

午前中から那須高原地区の危険度が最も高いと想定していた。芦野、伊王野地区は雨が降り出してから対応したのが現実で、今後は対応の仕方を検証する。



一刻も早い復旧を。復旧工事現場

■ 学校施設環境整備について

質問

東陽小、施設の安全配慮は

町 最大限配慮している

問

現在の校舎は改修、整備工事などを行い、平成29年10月から使用されている。校庭が子どもたちの安全に配慮された施設となっているか。

問

室内プールの水温を上げ、使用期間を長くする対策は。

答

気候状況踏まえ、日光の取り込みを抑える設計になっている。そのため希望する水温確保の課題を残している。適切に水泳の授業ができるよう使用時期を学校と協議する。

答

安全に最大限配慮している。一部水はけの悪い箇所があり、使用に支障があることは承知している。対応を検討していく。

問

建物の陰に隠れ、普段目立たない箇所の整備に手をかけられていない。不具合箇所の対処は。

答

修繕が軽微なものは、現在即時対応している。大規模改修はすぐに対応できないので検討を要する。



日光の取り込みを抑えた東陽小プール

●ほかに「若者の力を活かすまちづくり政策について」の質問もしています。